

第5節 教育図書・資料の収集・提供事業

1 教育図書・資料の収集・整理

養護教育センターでは、養護教育に関する研修・研究・相談事業の充実と、県内各学校等における研究活動及び教育実践に寄与できるよう、教育図書・資料の収集整理を行い、心身障害児教育に関する図書・資料のセンター的な機能を果たすように努めた。

(1) 教育図書の収集・整理

教育図書については、養護教育に関する専門図書の充実に努め、本年度124冊の新規購入及び寄贈の結果、蔵書数は、5,088冊となった。その種類は、心身障害児の教育関係図書が2,917冊となり、医学関係図書が339冊、心理関係図書が155冊、その他の図書が1,677冊となった。これらの図書は、「日本十進分類法」の分類基準に従い分類・配架しているので、いつでも利用できるようになっている。

また、50音検索カード及び分類記号検索カードを整えたので、図書の検索が一層便利になった。

(2) 教育関係定期刊行物の収集・整理

教育関係定期刊行物は、県費購入及び寄贈などにより、34種類で1,639冊に達した。

(3) 教育資料の収集・整理

教育資料は、全国の関係機関や県内の教育機関の協力により、研究紀要・研究報告書等の収集に努めており、集まった150冊余りについて「教育資料分類基準」に従って分類するとともに、県内の資料については、更に、学校別に分類・配架した。

2 教育図書・資料の利用

本年度の図書・資料は、養護教育センターの研修参加者を含め、県内の養護教育に携わる教職員によって利用されてきた。また、普通教育に携わる教職員や、一般県民の利用もみられた。

その利用者は、544名で、図書・資料の貸出冊数は732冊であった。

第6節 広報・啓発事業

養護教育センターの事業内容及び所内における調査・研究の成果を紹介、普及させるとともに、学校及び社会の養護教育に対する理解・認識を深め、もって人間性を重視した学校教育を推進するための情報資料の提供を図った。

1 所報養護教育

(1) 編集方針

年間4回(第20号～第23号)発行。

養護教育センターの各種事業内容、養護教育に関する新動向等の紹介

(2) 内 容

巻頭言、特集記事、講演紹介、研究実践校の報告、実践紹介、私のアイデア、相談事業報告、福祉の窓、用語解説、図書・資料室だより、随想、長期研究員の声、研修者の声

(3) 規格・ページ・部数

- ① 規 格 B5版
- ② ページ数 毎号16ページ
- ③ 部 数 毎号1,500部

(4) 配布対象

教育庁各課・室・所・館、市町村教育委員会、公立幼・小・中・高・特殊教育諸学校、知事部局関係各課、各都道府県・政令都市特殊教育センター、国立特殊教育総合研究所、福島大学附属教育実践研究指導センター、報道関係等

2 養護教育センター案内パンフレット

(1) 編集方針

養護教育センター利用者のための案内

(2) 内 容

- ① 教育相談
相談対象、相談の内容、相談の申し込みの手続
- ② 巡回就学相談一県内4地区4会場における相談
- ③ 地域相談室一県内3地区(福島、会津若松、いわき)における相談
- ④ 研修・研究—18講座の紹介と研究開発の予告
- ⑤ 図書・資料の収集提供—5,000冊余の図書の貸し出し

(3) 規格・ページ・部数

B4版 三つ折り 3,000部

(4) 配布対象

市町村教育委員会、公立小・中学校特殊学級設置校、国立特殊教育諸学校、公立教育関係機関

3 巡回就学相談実施案内パンフレット

(1) 編集方針

遠方のため来所が困難で心身に障害のある、幼児・児童の保護者及び関係機関に対する就学・教育相談の案内

(2) 内 容

- ① 相談の対象
- ② 相談の申し込み手順及び方法
- ③ 教育機関及び地域相談室の案内

(3) 規格・ページ・部数

B4版 二つ折り 3,000部

(4) 配布対象

教育庁各課・所・館、市町村教育委員会、公立幼・小・特殊教育諸学校、私立幼稚園、公・私立保育所等